

メディアコンバータ用電源装置

MC2U-16PS01

ユーザースマニュアル

2023年11月

Rev. 1.00

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品をご使用前に必ず本書および製品の各種マニュアルをお読みください。

本書について

- ・ 本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・ 弊社に許可無く、コピー、再版、他言語への翻訳を行うことはできません。
- ・ 本書および各種マニュアルは、お手元に保管してご使用ください。

お願い

- ・ 本製品は日本国内向けの製品であり、日本国外で使用しないでください。
- ・ 本製品は軍事関係、原子力関係、医療関係、航空宇宙関係、輸送関係の設備や機器として使用しないでください。
- ・ 地震・落雷・火災・水害等の天災による故障、損傷により生じた損害は、弊社では一切の責任を負いません。
- ・ 記載された条件以外での使用方法によって生じた故障又は損害に関して、一切の責任を負いません。

廃棄に関するご注意

- ・ 本製品を廃棄する場合には、地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

TRADEMARKS

Ethernet is a registered trademark of Xerox Corp.

FCC

この装置は、FCC規則 クラスAパート15に準拠しています。動作には、次の2つの条件が適用されます。

(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならず、(2)このデバイスは、引き起こされる可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があります。

CE

この記号の付いたマークは、この機器が欧州共同体の EMC 指令に準拠していることを示します。また、この機器が以下の技術基準に適合していること、または適合していることを示すものです。

EMC指令 2014/30/EU

EN 55032

EN 55035

LVD指令 2014/35/EU

EN 62368-1

VCCI

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

目次

はじめに.....	2
本書について	2
お願い	2
廃棄に関するご注意	2
1. はじめに	6
1.1 特徴.....	7
1.2 仕様.....	7
2. 設置.....	10
2.1 製品内容.....	10
2.2 安全上のご注意.....	10
2.3 名称と機能.....	11
2.3.1 管理モジュール.....	12
2.3.2 電源モジュール.....	14
2.3.3 メディアコンバータスロット.....	16
2.4 ラック取り付け.....	18
3. ネットワーク管理.....	19
3.1 マネジメント機能.....	19
3.2 プロトコルサポート	20
3.3 コンソールマネジメントのセットアップ.....	20
3.4 TCP/IP 経由のセットアップ.....	22
3.5 IPアドレスとパスワードの設定	22
4. Web管理.....	23
4.1 ブラウザソフトウェアの開始と接続.....	23
4.2 ログイン.....	23
4.3 管理メニュー	25
4.4 Configuration.....	26
4.4.1 System.....	26
4.4.2 Slot Name	29
4.5 Monitoring.....	30
4.5.1 Slot Status.....	30
4.6 Maintenance	32
4.6.1 Reboot System	32

4.6.2 Restore Default.....	32
4.6.3 Update Firmware	32
4.6.4 Configuration File Transfer	33
4.6.5 Logout.....	33
5. SNMPサポート.....	34
5.1 SNMP Trap Function	35
初期設定.....	36

1. はじめに



MC2U-16PS01は、当社製のメディアコンバータ(MCC-101G)を最大16台搭載できる、メディアコンバーター用電源装置です。

電源装置を使用することでACアダプタを使用せずに電源を集中供給し、搭載されている管理モジュールからメディアコンバータの状態を管理することができます。

1.1 特徴

- 搭載しているメディアコンバータの管理機能付き
- 19インチラックに搭載可能な2Uシャーシ
- 管理機能は最大16台のメディアコンバータを管理可能
- 高い有用性と保守性
- 2つの電源モジュールによる電源の冗長性
- 可視的なシステム状態の表示
- コンソール、SNMP、Webベースの管理をサポート
- Webブラウザを使用して、あらゆる場所、プラットフォームからでも管理可能
- 使いやすいユーザーインターフェース
- システムを設定および監視するための、写真品質インターフェイス
- SNMPラップをサポート
- TFTPによるファームウェアアップデート

1.2 仕様

製品仕様

スロット数	16スロット
電源スロット数	2スロット
FAN	DC FAN×1
寸法	443mm(W)×88mm(H)×300mm(D) (コネクタ等の突起含まず)
質量	約6.2kg(MCC-101G 非搭載時)

環境条件

動作温度	0°C ~ 40°C(本体)
保管温度	-20°C ~ 80°C
湿度	5% ~ 90% (結露なきこと)

認証

FCC	Part 15, Class A
CE	EMC Class A
LVD	EN 62368-1
VCCI	VCCI-CISPR32:2016 Class A

電源モジュール仕様

寸法	194mm x 156mm x 40.3mm
AC電源スイッチ	システム電源オン/オフ スイッチ
AC電源コンセント	IEC320タイプ
電源ステータス表示	緑LED点灯
入力電圧	100~240V
入力周波数	50Hz~60Hz
出力電力	70W
絶縁抵抗	>10M オーム @DC500V
保護	過電圧、過電力、短絡
安全性	IEC62368-1

管理モジュール仕様

寸法	107mm x 24mm x 86.4mm
実装位置	スロット0

システムインターフェース

コネクタ	フューチャーバス
------	----------

コンソールインターフェース

インターフェース	RS-232 DTE
コネクタ	9-pin male D-SUB connector
通信速度	115200,N, 8, 1, 0
フロー制御	無効

LANインターフェース

インターフェース	10/100/1000Mbps LAN port
コネクタ	Shielded RJ-45 MDI
規準	IEEE 802.3 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
Auto-negotiation	サポート
Auto MDI/MDI-X	サポート

LANインターフェース

インターフェース	10/100/1000Mbps LAN port
コネクタ	Shielded RJ-45 MDI
規準	IEEE 802.3 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
Auto-negotiation	サポート
Auto MDI/MDI-X	サポート

2. 設置

2.1 製品内容

本製品内容は以下の通りです。

- メディアコンバータ用電源装置本体×1
- ラックマウントキット×2
- ブラケット×16
- ねじ(M3×16、M4×8)
- RS-232ケーブル×1
- ACケーブル×2
- はじめにお読みください×1

2.2 安全上のご注意

ここに記載した注意事項は、お使いになる人のケガの防止や、他の人への危害の防止、財産への損害を未然に防止するための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。

	<p>本書及びその他のドキュメントで説明されている場合を除き、製品を修理しないでください。</p>
	<p>本製品と添付品の分解や改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。</p>
	<p>本製品の保守は、適切な訓練を受けた技術者のみが行ってください。</p>
	<p>次のいずれかの状況が発生した場合は、コンセントから製品のプラグを抜き、部品を交換するか、弊社お客様窓口にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブル、延長ケーブル、プラグが破損している。 ・製品内に物が落ちた。 ・製品が水にさらされた。 ・本製品を落としたり、破損した場合。 ・取扱説明書に従って操作しても、製品が正しく動作しない。
	<p>プラグや外部接続端子に液体（水、飲料水、汗等）入れないでください。 火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。</p>
	<p>ACケーブルは、必ず本製品付属のものをお使いください。 本製品付属以外のACケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火の恐れがあります。</p>

2.3 名称と機能

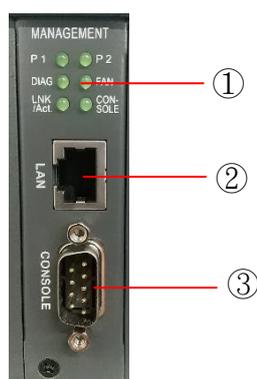


名称	機能
①管理モジュール	メディアコンバータ管理用モジュール
②ブランクパネル	空きスロット用ブランクパネル
③電源モジュール 2	電源供給用モジュール(スロット 2)
④電源モジュール 1	電源供給用モジュール(スロット 1)
⑤本体ラベル	機種名と定格の表示
⑥FAN	電源装置の冷却用 FAN

2.3.1 管理モジュール

メディアコンバータ用電源装置には、スロット 0 に管理モジュールが標準搭載されています。管理モジュールには以下の機能があります。

- RS-232 コンソールポート経由のダイレクトコンソール管理
- SNMP プロトコル経由でインバンド管理を行う SNMP エージェント
- Web ベースの管理ができる HTTP ホスト
- 電源装置に実装されている全てのメディアコンバータの状態を監視
- 2 台の電源モジュールおよび FAN のステータスの監視



名称	機能
① ステータスLED	本体の動作状態を表示
② LAN ポート	LAN(RJ45)接続用ポート
③ CONSOLE ポート	RS-232 接続用 CONSOLE ポート

コンソールポート仕様

このポートは9ピンオスのD-subコネクタです。RS-232DTEポートとして機能します。

DB9	ピン番号	信号名
	2	RXD
	3	TXD
	5	GND

LANポート仕様

このポートは、すべてのインバンド管理操作のために、TCP/IPネットワークに接続する必要があります。

LED仕様

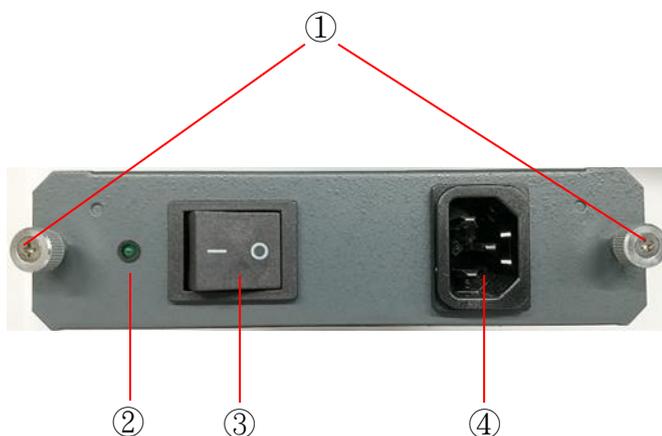
各LEDは電源装置のステータスを表示します。

ステータス	説明	仕様
P1	電源モジュール1の状態表示	電源モジュール1 電源 ON : 点灯
P2	電源モジュール2の状態表示	電源モジュール2 電源 ON : 点灯
DIAG	CPU 初期化の状態表示	初期化実行中 : 点灯 初期化完了 : 消灯
FAN	FAN の状態表示	エラー検出 : 点灯 正常動作 : 消灯
LINK/ACT	動作状態表示	LAN ポートがアクティブ : 点灯 パケットの送受信 : 点滅
CONSOLE	電源状態表示	CONSOLE ポートがアクティブ : 点灯

2.3.2 電源モジュール

電源モジュールは、電源装置が工場から出荷された時に、装置にあらかじめ取り付けられています。電源装置は簡単に取り外せるように設計されていますが、取り付け、取り外しする場合には手順に従って正しく取り外してください。

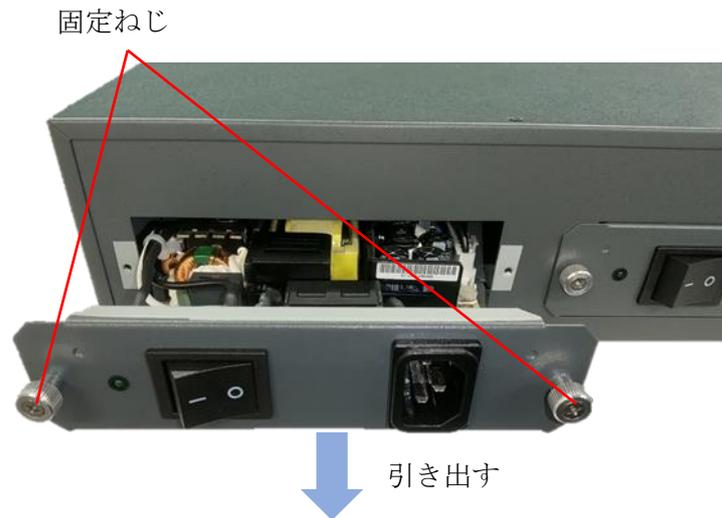
誤った方法で取り外すと火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。



名称	機能
①固定ねじ	電源装置へ固定するねじ
②電源 LED	電源の動作状態を表示(電源 ON : 点灯)
③電源スイッチ	電源の ON/OFF 用スイッチ
④電源コネクタ	AC ケーブル接続用コネクタ

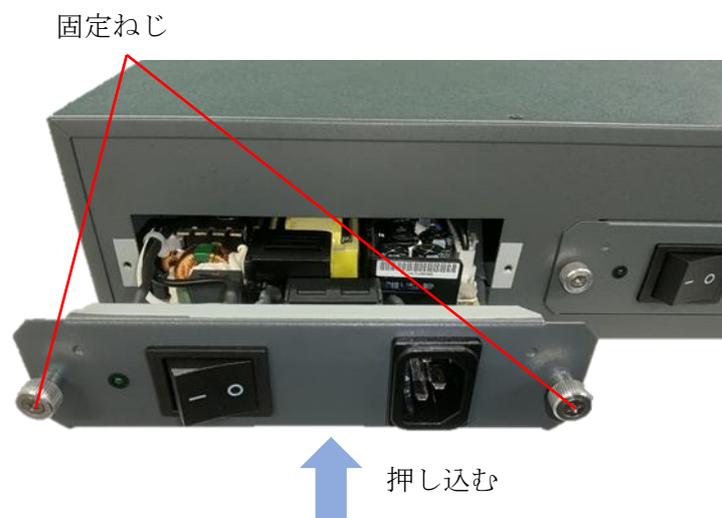
電源モジュールの取り外し

- ① 安全上の理由から、電源シャーシを取り外す前に次のことを確認してください。
 - ・電源スイッチがオフになっていること。
 - ・ACケーブルが電源モジュールに接続されていないこと。
- ② 電源モジュールを取り外すには、2本の固定ねじを電源装置から外れるまで緩め、ねじを持ったままゆっくり引き出します。



電源モジュールの取り付け

- ① 安全上の理由から、電源シャーシを取り外す前に次のことを確認してください。
 - ・電源スイッチがオフになっていること。
 - ・ACケーブルが電源モジュールに接続されていないこと。
- ② 2本の固定ねじを持ったままゆっくり電源装置に押し込みます。電源装置に収まったら、固定ねじを回してしっかりと固定してください。

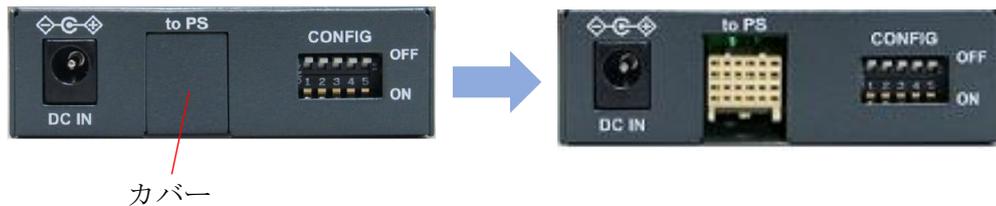


2.3.3 メディアコンバータスロット

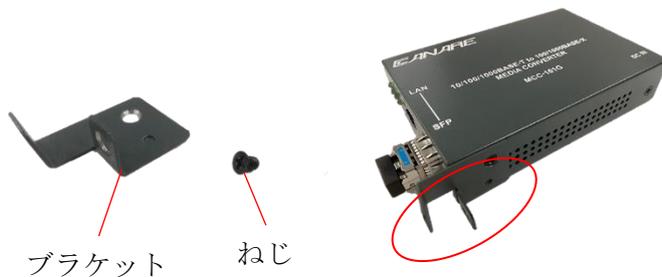
電源装置にはメディアコンバータを取り付ける、16個のスロットがあります。
 メディアコンバータは、電源装置の電源が入っている場合でも、スロットに挿入や取り外すことができます。(ホットプラグ設計)

メディアコンバータの挿入手順

- ① メディアコンバータ背面の「to PS」カバーのねじを外して取り外します。



- ② 添付品のブラケットとねじ(M3)を使用して、メディアコンバータに取り付けます。



- ③ 電源装置のブラックパネルを取り外し、メディアコンバータをブラケットが下向きにした状態でスロットに挿入します。

※ブラックパネルのねじはメディアコンバータの固定に使用するので無くさないで下さい。

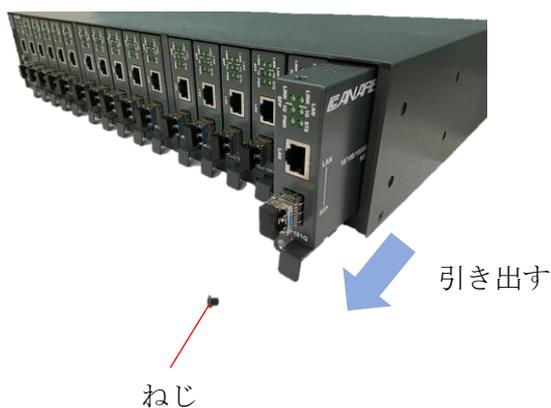


- ④ メディアコンバータが電源装置に収まったら、ブラנקパネルで使用していたねじを使用して、ブラケットを電源装置に固定します。



メディアコンバータの取り外し手順

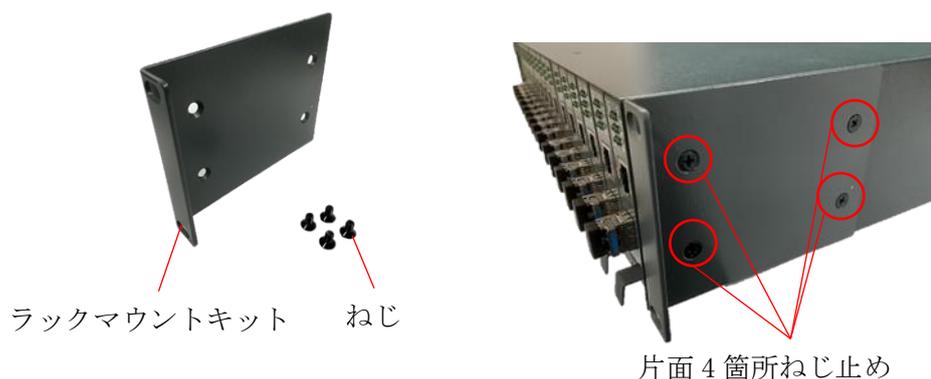
- ① メディアコンバータに接続されているケーブルを全て取り外します。
- ② メディアコンバータの、ブラケットのねじを取り外します。
- ③ ブラケットを持ち、ゆっくり手前に引き出します。



2.4 ラック取り付け

本製品には、電源装置を19インチラックに固定するためのラックマウントキットが付属しています。ラックマウントキットには、装置を19インチラックに取り付けるための2つのブラケットとねじが含まれています。

- ① 電源装置に添付されている、ラックマウントキットとねじ(M4)を使用して装置の両サイドに取り付けてください。



- ② 電源装置をラックに取り付けます。ラックマウントキットの4箇所をねじで固定してください。
※ラックに取り付けるねじはご使用するラックに合わせてご準備をお願いします。

3. ネットワーク管理

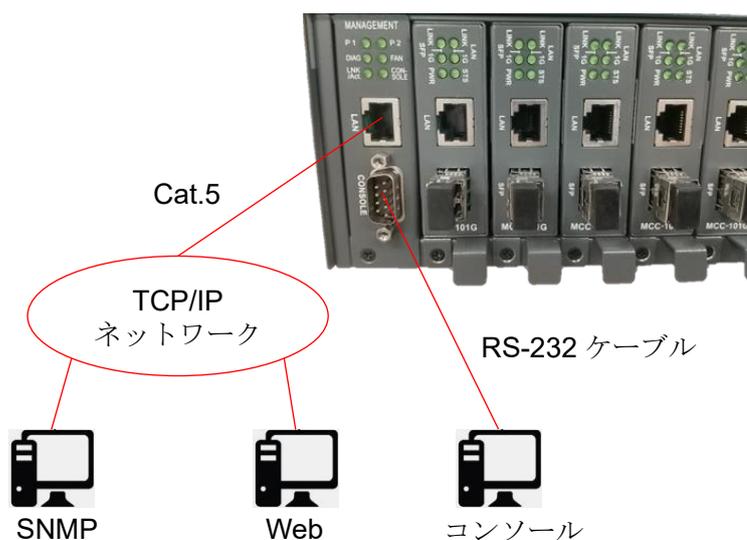
3.1 マネジメント機能

電源装置は管理機能が搭載されており、以下の方法で管理することができます。

- RS-232ケーブルによるダイレクトコンソール接続
- TCP/IPネットワーク経由のSNMPマネージャソフトウェア
- TCP/IPネットワーク経由でインターネットまたは、イントラネットからのWebブラウザソフトウェア

管理インターフェース	RS-232/プロトコル
コンソール操作	RS-232 コンソールポート
SNMP 管理	TCP/IP ネットワークを経由した SNMP
Web ブラウザ	TCP/IP ネットワークを経由した HTTP

次の図は管理モデルを図式で表したものです。



電源装置には、システムステータスと実装されているすべてのメディアコンバータを監視する、管理エージェントとして機能する管理モジュールがスロット0に実装されています。 エージェントは、ネットワークからの帯域内管理要求、または直接接続されたコンソールからの帯域外要求にも応答します。

3.2 プロトコルサポート

プロトコル	名称	参照
IPv4	IP version4	RFC791
TCP	Transmission Control Protocol	RFC793
UDP	User Datagram Protocol	RFC768
ICMP	Internet Control Message Protocol	RFC792
SNMP	SNMP agent v1	RFC1157
MIB-II	Standard MIB	RFC1213
HTTP	HTTP server for web management	RFC1945

3.3 コンソールマネジメントのセットアップ

インバンド管理を行う前に、IPおよび SNMP関連の設定を構成するためのコンソール操作を実行する必要があります。コンソールポートは管理モジュール上にあります。

WindowsのOSを使用しているPCは、COMポート経由でコンソールとして使用できます。

コンソール操作をセットアップする手順は次のとおりです。

- ① コンソール端末に接続するためにRS-232ケーブルを準備します。PCを端末として使用している場合は、ケーブルのピン割り当てがされていることを確認してください。

D-SUB 9 ピン番号	信号名	COM ポート ピン番号
2	RXD	3
3	TXD	2
5	GND	5

- ② RS-232ケーブルの片方をコンソール ポートに接続し、もう片方をPCのCOMポートに接続します。
- ③ PCのCOMポート設定をコンソールポートのRS-232設定と一致するように設定し、ターミナルソフトウェアを起動します。

コンソールポートの工場出荷時のデフォルト設定

ボーレート	115200, N, 8, 1, 0
フロー制御	Disabled
モデム制御	Not support

- ④ 電源装置の電源をオンにします。
- ⑤ ログイン画面が表示されるまで、ターミナルソフトウェアで<Enter>キーを数回押します。
ログイン画面が表示されたら、初期パスワードを入力してログインしてください。

初期パスワード	123
---------	-----

コンソール管理の詳細については、「MC2U-16PS01コンソールコマンドガイド」を参照してください。

3.4 TCP/IP 経路のセットアップ

インバンド管理を実行するには、システムをTCP/IPネットワークに接続する必要があります。
手順は以下のとおりです。

- ① システムにIPとパスワードを設定します。
- ② LANケーブルのCAT5以上(ストレート UTPケーブル)を準備します。
- ③ LANケーブルの一方を管理モジュールのUTPポートに接続し、もう一方をTCP/IPネットワーク内のスイッチングハブなどのデバイスに接続します。
- ④ WebやSNMPを使用して、装置の管理を実施します。管理方法については、各管理項目の章を参照してください。

3.5 IPアドレスとパスワードの設定

電源装置の管理ソフトウェアは、工場出荷時に次のデフォルト設定で出荷されます。

IP アドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
初期パスワード	123

IPアドレスとパスワードは、Webベースのインターフェイスを介して管理ソフトウェアにアクセスする際に使用します。セキュリティ上の理由から、購入後はデフォルト設定を変更することをお勧めします。

IPアドレスとパスワードの変更方法は、Web管理の章を参照してください。

4. Web管理

電源装置にはhttpサーバーが搭載されており、TCP/IPネットワーク経由でWebブラウザ ソフトウェアからの管理リクエストに対応できます。

4.1 ブラウザソフトウェアの開始と接続

Webブラウザソフトウェアを起動し、接続する電源装置のIPアドレスを入力します。IPアドレスは、ブラウザソフトウェアが対象システムを検索するためのURLとして使用されます。

URL : http://xxx.xxx.xxx.xxx/

IP アドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0

工場出荷時のIPアドレス : 192.168.0.2

工場出荷時のサブネットマスク : 255.255.255.0

4.2 ログイン

Webブラウザソフトウェアから電源装置に接続すると、次のようなログイン画面が表示されます。工場出荷設定のパスワードを入力してログインしてください。

初期パスワード	123
---------	-----



※ログイン後は管理メニューのConfigurationにあるSystemの項目から、デフォルトパスワードを変更してください。

システムへ複数アクセスした場合、成功した管理接続を1つだけ受け入れます。他の接続試行では、以下の警告メッセージが表示されます。

Duplicate Administrator.

The device is currently being managed by another IP Address.

ログインユーザーが正常にログアウトした場合、またはシステムによって自動ログアウトされた場合に新しい接続が受け入れられます。ログインに成功すると、システム構成が表示されます。

4.3 管理メニュー

メインメニューの基本機能について説明しています。

Configuration

- System : デバイス情報、システムおよび IP 関連の設定をすることができます
- Slot Name : 各スロットには、スロットを表す識別可能な名前を割り当てることができます
デフォルト名は「slotn」です※¹

Monitoring

- Slot Status : すべてのメディアコンバータスロットのポートステータスを表示します

Maintenance

- Reboot System : 電源装置を再起動します
- Restore Default : 電源装置を工場出荷時の設定に戻します
- Update Firmware : 電源装置のファームウェアを更新します
- Configuration File Transfer : 設定ファイルのダウンロードとアップロードします
- Logout : 現在の Web 管理からログアウトします

※¹ n = slot番号

4.4 Configuration

4.4.1 System

System Configuration	
MAC Address	C4-95-4D-E3-00-0C
S/W Version	v1.02
H/W Version	1.0
Active IP Address	192.168.0.2
Active Subnet Mask	255.255.255.0
Active Gateway	0.0.0.0
DHCP Server	0.0.0.0
Lease Time Left	0 secs
Power Status	P1 : Good P2 : Good
Fan Status	Good

DHCP Enabled	<input type="checkbox"/>
Fallback IP Address	192.168.0.2
Fallback Subnet Mask	255.255.255.0
Fallback Gateway	0.0.0.0
Name	Center
Password	***
Inactivity Timeout (seconds)	300 (0 or 60~10000)
SNMP enabled	<input checked="" type="checkbox"/>
SNMP Trap destination	0.0.0.0
SNMP Read Community	public
SNMP Write Community	private
SNMP Trap Community	public
Power Traps	<input checked="" type="checkbox"/>
Fan Traps	<input checked="" type="checkbox"/>
Link Traps	<input checked="" type="checkbox"/>

設定	説明
MAC Address	: システムに設定されたMACアドレス
S/W Version	: 使用しているファームウェアのバージョン
H/W Version	: 使用しているハードウェアのバージョン
Active IP Address	: 現在有効なIPアドレス
Active Subnet Mask	: 現在有効なサブネットマスク
Active Gateway	: 現在有効なゲートウェイIPアドレス
DHCP Server	: DHCPサーバーのIPアドレス
Lease Time Left	: リースIPアドレスの残り時間
Power Status	: P1 (電源モジュール1) の電源ステータス : P2 (電源モジュール2) の電源ステータス 「Good=正常」 「Bad=故障」
Fan Status	: 電源装置のFANステータス 「Good=正常」 「Bad=故障」
DHCP Enabled ※ ¹	: チェックボックスをオンにすると、自動的にIPアドレスを取得
Fallback IP Address	: DHCPが無効な場合に使用されるIPアドレス
Fallback Subnet Mask	: DHCPが無効な場合に使用されるサブネットマスク
Fallback Gateway	: DHCPが無効な場合に使用されるゲートウェイのIPアドレス
Name	: 電源装置のシステム名を設定します
Password	: ログイン時のパスワードを設定します
Inactivity Timeout	: Web接続時のタイムアウト時間を設定します (自動ログアウト) 0 - タイムアウトなし、60 ~ 10000 秒
SNMP enabled	: チェックボックスをオンにすると、SNMPを有効にします
SNMP Trap destination	: SNMPトラップの送信先IPアドレスを入力します
SNMP Read community	: SNMP [get] メッセージに許可されるSNMPコミュニティ
SNMP Write community	: SNMP [set] メッセージに許可されるSNMPコミュニティ
SNMP Trap community	: SNMPトラップメッセージに使用されるSNMPコミュニティ
Power Traps	: チェックボックスをオンにすると、電源スロットのSNMPトラップ機能を有効にします
Fan Traps	: チェックボックスをオンにすると、FANのSNMPトラップ機能を有効にします
Link Traps	: チェックボックスをオンにすると、搭載されているメディアコンバータのポートリンクトラップ機能を有効にします

[Apply] : クリックして設定変更を適用します
[Refresh] : クリックして現在の設定を更新します

※¹ DHCPモードの設定変更は次回起動時から有効になります。

4.4.2 Slot Name

Slot Name	
Slot 1	<input type="text" value="slot1"/>
Slot 2	<input type="text" value="slot2"/>
Slot 3	<input type="text" value="slot3"/>
Slot 4	<input type="text" value="slot4"/>
Slot 5	<input type="text" value="slot5"/>
Slot 6	<input type="text" value="slot6"/>
Slot 7	<input type="text" value="slot7"/>
Slot 8	<input type="text" value="slot8"/>
Slot 9	<input type="text" value="slot9"/>
Slot 10	<input type="text" value="slot10"/>
Slot 11	<input type="text" value="slot11"/>
Slot 12	<input type="text" value="slot12"/>
Slot 13	<input type="text" value="slot13"/>
Slot 14	<input type="text" value="slot14"/>
Slot 15	<input type="text" value="slot15"/>
Slot 16	<input type="text" value="slot16"/>

設定	説明
Slot n	: システムに設定されたMACアドレス
Name	: 使用しているファームウェアのバージョン
[Apply]	: クリックして設定変更を適用します

4.5 Monitoring

4.5.1 Slot Status

Slot Status



Slot No	Name	Port	Media	Link	Speed	Duplex	Remote Link Status
Slot 1	slot1	A	T	Up	1000	Full	N/A
		B	X	Up	1G/100	Full	
Slot 2	slot2	A	T	Up	1000	Full	N/A
		B	X	Up	1G/100	Full	
Slot 3	slot3	A	T	Up	1000	Full	N/A

設定

説明

Slot No.	<p>搭載されているメディアコンバータのロット番号</p> <p>ロット番号は、電源装置の左側から順にSlot 1, Slot 2,...,Slot 16となります。マウスをいずれかのロットアイコンに移動すると、対応するロット番号が表示されます。</p>
Name	<p>ロット番号に設定されたロット名</p>
Port	<p>A: ロット番号の上位ポート</p> <p>B: ロット番号の下部ポート</p>
Media	<p>ポートのメディアタイプ</p> <p>TX: 10/100BASE-TX UTPポート</p> <p>FX: 100BASE-FX ファイバーポート</p> <p>T: 10/100/1000BASE-T UTPポート</p> <p>X: 100BASE-FXまたは1000BASE-X ファイバーポート</p>
Link	<p>ポートのリンクステータス</p> <p>Down: リンクダウン</p> <p>Up: リンクアップ</p>
Speed	<p>ポート速度ステータス (ラインレート)</p> <p>100/10: 100Mbps または 10Mbps</p> <p>1G/100: 1000Mbps または 100Mbps</p> <p>100: 100Mbps</p>

Duplex

ポートのデュプレックスステータス

Full: 全二重

Half: 半二重

[Auto-refresh]チェックを入れるとすべてのステータス表示が更新されます

4.6 Maintenance

4.6.1 Reboot System



電源装置をリモートで再起動するために使用されます。再起動を実行すると、現在のhttp接続が失われます。再度管理操作を実行するには、再接続をする必要があります。

4.6.2 Restore Default



電源装置のIP設定を除く、すべての設定を工場出荷時の設定値に戻します。

4.6.3 Update Firmware

ファームウェアのアップロードを実行するために使用されます。アップロードする新しいファームウェアのイメージファイルのパスとファイル名を入力します。



設定	説明
[Choose File]	クリックすると、コンピュータのファイルシステムを参照してファームウェアイメージファイルを探します
[Upload]	クリックすると、イメージファイルのアップロードを開始します

4.6.4 Configuration File Transfer

設定	説明
[Choose File]	クリックすると、コンピュータのファイルシステムを参照して設定ファイルを探します
[Upload]	クリックすると、接続されているPCから電源装置へ設定のアップロード操作が開始されます
[Download]	クリックすると、電源装置へ接続しているPCへ設定ファイルのダウンロード動作が開始されます

[download]を実行すると、現在の設定をバックアップし、接続されている管理 PC にダウンロードできます。デフォルトのファイル名は「switch.cfg」です。

4.6.5 Logout

この項目は、Web管理からログアウトすることができます。ログアウト後は、ログイン画面が表示されます。

ユーザーがWeb管理を操作を実行しなかった場合にも、システムは自動的にログアウトを実行します。

5. SNMPサポート

SNMP version support	Snmp v1、v2c
Managed Objects	MIB-II
	system OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 1 }
	interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 2 }
	ip OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 4 }
	snmp OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 11 }
	ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 31 }
RFC	RFC 3418 - Management Information Base (MIB) for the Simple Network Management Protocol (SNMP)
	RFC 1213 - Management Information Base for Network Management of TCP/IP-based internets:MIB-II
	RFC 1158 - Management Information Base for network management of TCP/IP-based internets: MIB-II
Private objects	管理モジュール情報
	電源モジュール1と電源モジュール2のステータス
	FANのステータス
	メディアコンバータのスロット1～スロット16のステータス

5.1 SNMP Trap Function

SNMPトラップ機能を有効にすると、関連するトラップイベントが発生したときに、装置からSNMPプロトコル経由でトラップメッセージをSNMPトラップホストに送信できます。

SNMP Trap settings

発行されるSNMPトラップメッセージを受信できるトラップホストの設定

SNMP Trap destination

トラップの受信を許可されるターゲットSNMPトラップホストのIPアドレス

SNMP Trap community settings

トラップメッセージに限定されたコミュニティ文字列

SNMP Trap events

トラップイベントが発生したとき、トラップメッセージを生成するために、次のイベントが定義されています

- The managed system chassis boot up
- LAN port on the management module link change
- Power slot 1 failure
- Power slot 1 recovery
- Power slot 2 failure
- Power slot 2 recovery
- System fan failure
- System fan recovery
- Any port A link change among the installed media converter
- Any port B link change among the installed media converter

初期設定

System Configuration

DHCP Enabled	Disable
Fallback IP Address	192.168.0.2
Fallback Subnet Mask	255.255.255.0
Fallback Gateway	0.0.0.0
Name	Center
Password	123
Inactivity Timeout (secs)	300
SNMP enabled	Enable
SNMP Trap destination	0.0.0.0
SNMP Read Community	public
SNMP Write Community	private
SNMP Trap Community	public
Power Trap	Enable
Fan Trap	Enable
Link Trap	Enable

Slot Name Configuration

Slot n	slotn
--------	-------

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

カナレ電気株式会社

URL <http://www.canare.co.jp>